

出来ている

ここへは
過去で

現代時間論から見る心の哲学

「時間は「流れている」のでしょうか？」
「一部の物理学者や哲学者が言っつように時間は流れていないのだとしたら、
どうして私たちの心はそろいもそろって流れていると錯覚してしまうのでしょうか？」
ベルクソンやマクタガートといった現代の時間論哲学者の考えをヒントに、
「時間」と「心」と「物語」の秘めやかなつながりと絡み合いを、
ていねいに解きほぐしてみたいと思います。



2015.10/2 金

14:00—16:00 (開場13:30)

アクロス福岡 円形ホール (福岡市中央区天神1丁目1-1) 《定員130名》

入場無料
《予約不要》

講 師



平井 靖史 先生
福岡大学 人文学部 文化学科 教授

【略歴】
広島市出身。
修道学園中学・高校を卒業後、
武蔵野美術大学造形学部油絵学科に入学。
同大学を卒業後、哲学を志し東京都立大学人文学部哲学科に学士入学、
同大学院哲学専攻へと進学。
博士課程満期退学後、
福岡大学人文学部文化学科に就職し、現在教授。



対象者 市民一般

主催 山口大学時間学研究所

共催 公益財団法人 山口大学後援財団、日本時間学会

後援 福岡市教育委員会

お問合せ 山口大学時間学研究所 tel 083-933-5848 E-mail jikann@yamaguchi-u.ac.jp HP http://www.rits.yamaguchi-u.ac.jp

